

令和4年度 第12回江別市かわまちづくり勉強会 会議録（要点筆記）

日時	: 令和5年2月21日（火）18:00～20:30
場所	: 江別市中央公民館 3F研修室2号・3号
会場参加者	: 21名
オンライン参加者	: 3名
事務局	: 経済部商工労働課長、商工労働課主査（2名）、企画政策部政策推進課長、建設部都市建設課長、建築住宅課長、建築住宅課建築係長
その他	: 北海道開発局 札幌開発建設部 江別河川事務所（4名）

会議概要

1. 開会

2. 議事

事務局（半田主査）より下記内容について説明

(1) 前回勉強会の議事内容・主な意見について

(2) かわまちづくりロードマップについて

(3) かわまちづくりに関連した取組みについて

- ・北海道情報大学藤本ゼミよりバーチャル空間における江別の街並み再現プロジェクトについて説明
- ・石狩川クルーズ研究会より河川空間の利活用に関する話題提供（新潟県信濃川の事例紹介）
- ・エキテラ実行委員会よりエキテラの実施報告

[主な意見]

- ・林代表：アバターを使ってバーチャル空間で簡単なコミュニケーションやイベントができるかもしれない。バーチャル空間からリアルにつながるような仕組みができるのととても面白い。
- ・参加者：寒い冬だからこそ温かさを感じるイベントになってよかった。
- ・参加者：エキテラの成功を嬉しく思う。条丁目地区を代表してお礼を申しあげるとともに、今後、条丁目地区を挙げてかわまちづくりを応援したい。

(4) 意見交換

- ・江別河川事務所より堤防整備案について説明
- ・江別市より旧岡田倉庫整備案について説明
- ・シン・エベツより旧岡田倉庫及び河川敷の利活用に関する提案
- ・参加者を A～B の 2 グループに分け、下記について意見交換を実施

千歳川河川空間の整備・利活用方法について（堤防整備案、旧岡田倉庫整備案）

【意見交換内容の発表：A グループ】

旧岡田倉庫の屋内外をいろいろ使いながら、新しいことができるような場所になっていくとよいと思う。水場やコンセントの位置も屋内の活用に適していると思う。

江別市がサイクリングを推進していることを考えると、サイクリングポートの整備は良い企画だと思う。加えて、札幌で行われているペロタクシーのように、若者が運転して高齢者が乗って、そこで新しいコミュニケーションが生まれるといったものがあったもよい。

旧岡田倉庫の近くに消防署があるので、車両の出入りについて協議をしていく必要があると思う。雪対策を設計で詰めていく必要がある。

堤防の天端を活かしてロングカウンターにしてそこからスクリーンを眺めるロマンティックな場所にしても良いと思う。カヌーで千歳川を上って J R で帰るといった、新しい条丁目地区の楽しみ方・冒険の仕方が生まれ、ひとつの文化としてやっていけたらすごい。ナイトプールにしたらデートスポットになって映えるし、ここでしか味わえない体験をするということが大事になってくる。とても綺麗なトイレ等も人を呼び寄せると思う。条丁目地区の四季を感じながら、居心地の良い場所にしていけると良い。堤防のベンチひとつとっても大事なコンテンツになってくるので、位置やデザインが重要になってくる。SDG s や脱炭素といった環境への配慮も必要になってくる。

整備案が具体的になってきているので、どうやって使うか、誰が使うのか、どうやって運営していくのかを議論していかないといけない。

【意見交換内容の発表：B グループ】

設計図面だけでなく整備をイメージできる立体模型やパースがあれば、イメージが湧きやすい。設計図面で示されている堤防の天端幅が確保できれば、自動車の通行やキッチンカーの駐車も可能だと思う。

この場所を誰に使ってほしいのか、子どもなのか、高齢者の方なのか、ターゲットをどうするかとか、もう少し考えていく必要がある。

カヌーが近づきやすい整備をしてもらえるとよいと思う。

冬はどのように活用するのか、年間を通しての運営や収益も視野に入れて今後考えていく必要がある。

(5) 総括（小篠会長）

本日の勉強会では、最近のかわまちづくり関連イベントの説明に時間が割かれたが、イベントで実際どうだったかの蓄積が大事なので、むしろ良かったと思う。

我々の言った意見が独り歩きしているのではなく、工事や設計に反映していく作業をしていて、これはなかなかないことである。勉強会は約3年続いているが、いろいろな人が来て自由に発言できて、何かやってみようとか、これはやっぱり問題だから話さなきゃダメだねといった気づきの場になっていると思うので、なくせない。

旧岡田倉庫で何をやるかまだ決まっていない段階だが、誰がやっているのか、どういうお金でやるのか、そういった運営企画を考える組織体をかなり急いで作っていかないといけない。すぐできるわけではないが、年度内に一回アクションを起こす必要があると思う。そういう組織もうまく使って進めていくことと、若い人たちがたくさん入ってきてくれたということは、非常にプラスに働いていると思うので、協議会の方で背中を押すような形で支援したい。

今日は、まちづくりの担い手のような人たちが集まってワークショップをやっているような感じになって良かった。今後も継続して、みんなでひとつの方向に向かっていけたら良い。

(6) その他（事務局より）

今後、かわまちづくりの運営に携わっていただける方とワーキンググループを行い、かわまちづくりの運営や具体的な検討をしていきたいと考えている。これまで勉強会に参加された方に、かわまちづくりの運営にも引き続き関わっていただきたい。

ワーキンググループでの検討結果は、勉強会で共有し、勉強会の参加者の皆さんと一緒に検討していきたい。

3. 閉会

以上